

こいし 小石のクラフト

<活動の特長>

- ・川原にある石をじっくり観察していくと素材である石のもつおもしろさや不思議さに気付くことができます。また「素材を見る力・素材を楽しむ力」を高め合うことができます。
- ・素材である石の特徴を生かしてどんな作品にしようかと想像力をはたらかせることで、ものづくりの楽しさを感じることができます。



<めあての例>

- ・自然
「小石をじっくり観察しながら、
自然への見方を広げよう」
- ・ものづくり
「ものづくりの魅力を伝え合おう」



<大まかな活動の流れ>

①めあての確認をしよう



「石の声を聞いて、
石と語る」って、
どうすればいいの
かなあ…。

②石集め・石の観察をしよう

じっくりと小石を
見ていると、不思議と
別のものに見えてく
るぞ。



あっ、この石は鳥の
顔に見えるよ！



③石の作品づくりに取り組もう



石の特徴を大切に
しながら、仕上げを
しよう！

④作品の鑑賞会をしよう

いろいろな見え方がある
んだなあ。



⑤まとめ・振り返りをしよう

活動のはじめに小石のイメージ
を考えた時と活動後では、小石
の見方がだいぶ変わったよ。石
にも個性があるんだな。



<メモ>

- ・石と石の接着には、ホットボンドを使用します。やけどに注意して作業します。
- ・中学生の活動では、アクリル絵の具も持参することができます。

次へのステップ

小石以外の自然の素材を探して、
他にどんなものをつくることができ
るか考えてみよう。